

【 会 議 録 】(概要)

日時:平成 20 年 6 月 26 日(木) 18:00~20:40

会議名	越谷市自治基本条例審議会 第 2 部会 第 5 回会議	場所	越谷市役所第二庁舎 3 階 会議室
件名 議題	協議事項 (1) 共通検討事項について (2) 個別検討事項について		
資料等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
出席者	出席委員 小河原部会長、有元委員、伊東委員、宇佐美委員、大熊委員、加藤委員、 帆苅委員、佐々木委員(8名) 欠席者 高橋副部会長(1名) 事務局 田中企画課副主幹、斉藤同主事(2名) 支援者：特定非営利活動法人越谷NPOセンター(2名) 傍聴者 なし		
内 容	合意・決定事項等 ・基本理念及び基本原則について、第3回会議で抽出されたキーワードを確認しながら、意見集約等を行った。 ・個別検討事項(議会・市長)に関して、骨子案に盛り込むべきと考えられるキーワードの書き出しと分類の追加を行った。 ・運営・調整委員会において、個別検討事項については担当部会の意見が主となることから、7月10日までに第2部会としての意見をまとめることとした。 ・議員・市長のいずれにおいても「多選禁止」の文言は削除することとした。		

主な意見、発言等

(6月25日の市民参画プロジェクトチーム幹事会の報告)

- ・地区センター長会議があり、そこで地区懇談会の協力の要請を行い、了解を得たとの報告があった。
- ・議員と行う懇談会の際には、第2部会からは多めに参加してはどうか。

(共通検討事項について)

- ・基本理念部分の追加キーワードとして「自治力の向上」や「自治体力」と「コミュニティ力の調整」が必要ではないか。
- ・前文の中で「安心」「安全」は良いが、「福祉」「教育」「環境」については気を付けて使う必要がある。「福祉」は広範な意味を含んでいる。あまり具体的に表現すると、今度は身動きがとれなくなる。
- ・自治体が市民に対して何を行うか、という所に立ち返ると、やはり「福祉」はキーワードとして入れたほうが良い。
- ・「限りなき安心(安全)」というのはどうか。また、カッコ書きの中に福祉や教育等を入れるのはどうか。
- ・基本原則の中で、市民・行政・議会が対等というのはどうか。
- ・「市民の主役性」をどこかに表現すべきでないか。
- ・条例改正について、ある程度の重みを持たせると最高規範性が担保されるのではないか。
- ・あまり個別具体的に決めすぎると最高規範性が薄れるのではないか。
- ・共通事項として条例の中に「実効性の確保」を明記したほうが良い。

(個別検討事項について)

- ・市長や議員について多選禁止という意見があるが、どう考えるべきか。
- ・多選自体が悪いということではなく、問題のある人を選ぶということ自体が改められるべき。
- ・選挙において、「しっかりと各候補者を見極める」ことこそが重要なので、多選禁止の文言は適切でないと考えられる。削除してはどうか。そもそも、やるべきことをきちんとやっていれば、多選の弊害など出ない。
- ・公平な立場から議員活動するという、これは普遍的な事項ではないか。
- ・議会はもっと市民にわかりやすい議論を行うべきである。
- ・傍聴のしやすさ(平日以外の開催)や出前議会(議会の議論がより市民に近いところで行われる)など、市民に近い、わかりやすい議論をしてほしいと感じる。